



勝部日出男
東京鳥取県人会会長



写真左から、勝部会長、赤澤亮正経済産業大臣、平井伸治鳥取県知事



舞立昇治参議院議員



平井知事



福田俊史県議会議長



写真左から副会長の長尾克己、市川祐一郎、遠藤守の3氏



福引大会



パネルディスカッション



バイオリン演奏する篤見理恵子さん(左)と篤見野富子さん

東京鳥取県人会の「令和7年総会と懇親の集い」が2025年10月13日、東京都千代田区の都市センターホテルで開催されました。好天に恵まれ、赤澤亮正経済産業大臣をはじめ来賓と会員合わせて約270人が参加し、賑やかな楽しい集いとなりました。基調講演・パネルディスカッションでは、鳥取の未来創造の取り組みを考える機会となりました。

総会は、勝部日出男会長の挨拶で始まり、長尾克己総務部会長から会務報告があり、役員改選などの議案はすべて承認されました。

基調講演では、原田省鳥取大学学長が「最小県だからこそやれる!! Tottori UNOのしなやかな挑戦」と題して地域未来共創センターの取り組みを紹介。パネルディスカッションでは、起業家輩出力全国一位鳥取県の若手起業家が会場からの質問に答えながら情熱と苦労の中の喜びを語りました。

懇親会に移り、勝部会長が催しの紹介や景品提供への感謝を述べ、「今日は存分に楽しんでいただければと思います」と挨拶。米寿を迎えた10人、卒寿を迎えた15人が紹介されました。

来賓を代表して赤澤大臣が

東京鳥取県人会総会と懇親の集い開催 鳥取の未来創造の取り組み考える機会に

トランプ大統領との関税交渉
秘話を交えながら、「懇親の集いに来る度に元気が出る」

と話ししました。赤澤大臣のこれまでの功労を称え、勝部会長から花束が、平井鳥取県知事から「ゲゲゲの鬼太郎」にちなんで命名された輝太郎柿がそれぞれ贈られました。そして平井知事が大阪・関西万博における県の取り組みなどを得意のダジャレを交えながら

後半はバイオリンの篤見理恵子さんと篤見野富子さんの名演奏と、「ふるさと」伴奏による参加者全員での大合唱で会場が一体感に。最後に福田俊史・鳥取県議会議長による一本締めの後、全員が舞台上がり記念撮影に収まりました。



梨花

題字 / 故西尾邑次
元名誉会員揮毫

第79号

2026年3月16日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者 / 勝部日出男
編集 / 県人会広報部
<https://www.prof.tottori-ig.jp/tokyoenryu/>

東京鳥取県人会役員体制

【五十音順】

任期 自 令和7年総会
至 令和8年総会

役職名	氏名	
顧問	足立盛二郎	金子亮太郎
名誉会長	福井宏一郎	萬治 隆生
名誉会員	池田百合子	吉田 政雄
評議員	青木 一彦	赤澤 亮正
	梅林 文夫	石破 茂
	近藤 裕	上山 信一
	藤井 一博	金田 哲夫
	山内 治男	古賀 信三
会長	勝部日出男	小島順一郎
副会長	市川祐一郎	林田 英樹
常任幹事	○遠藤 守	本池 滋夫
(東部)	岩永 達也	武田 博史
(中部)	倉部 康行	堀尾 裕俊
(西部)	○森田 敏夫	安酸 庸祐
幹事		
(東部)	遠藤 隆司	加賀田隆志
13名	熊楚御堂朋子	河崎 妙子
	檀原 雅	岸本 收次
	山崎 恒樹	小島 憲道
(中部)	石井 健蔵	池本 栄樹
12名	金田 浩輝	河内 恭子
	竹田 高幸	中井 隆明
(西部)	青砥 基	池田 玲子
14名	○小野 憲彦	井田 年厚
	○吉川 博	木村 健一
	光井 正人	山本 英幸
会計監事	花房 幸範	松嶋 一海
事務局長		矢吹 隆 (鳥取県東京本部長)

※○印の方は、新任または移動者



CollectiveWisdom-ai.com
Knowledge/Experience/Skills
Masahiro Nakamura, Ph.D.
LIFE COACHING CEO
LIFE COACHING PRACTICE
PERSONAL GROWTH COACHING

鳥取から世界にはばたく、進化する老舗
千代むすび酒造株式会社
代表取締役会長 岡空 晴夫
代表取締役社長 岡空 聡
鳥取県佐田町1-1-131
TEL: 0859-42-3191 FAX: 0859-42-3515

鳥取ビルコン株式会社
代表取締役社長 杉原 真人
〒680-0903 鳥取市南隈 722
tel: 0857-30-7400 fax: 0857-30-7411
mail: sugihara-m@totech.co.jp

株式会社チユウワ
取締役会長 大田 英二
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 20-7
ITOビル 6F
TEL 03-5640-8122
FAX 03-5640-8100

TOTTORI BANK 鳥取銀行
東京事務所
所長 門脇 崇
〒101-0048 東京都千代田区神田町 2-2-12
神田町ビル5階
TEL 03-5295-9111 FAX 03-5295-8117
<http://www.tottoribank.co.jp/>

新年のご挨拶

東京鳥取県人会会長 勝部日出男

春節快樂!! 謹んで新春の
お慶びを申し上げます。
令和8年は2月4日より丙午
(ひのえうま)の歳となり、2月
17日には春節を迎え、いよいよ
よ新たな一年が始まりました。
昨年(乙巳(きのこみ))の
歳変化を恐れず脱皮すれば、
その努力が実を結び進化する
歳だと申し上げました。皆様
の役員・県東京本部の皆様
の努力が実り、新入会員数
ほぼ倍増し、減少気味であつ
た会員数が増加に転じまし
た。お陰様で、昨秋の県人会

総会も270名にも上る参席
者をいただき、人口比起業者
数日本一の鳥取県の若い起業
家によるパネル討論会や鳥取
県が誇る日本バイオリン界の
父鷺見三郎氏孫娘バイオリン
スト驚見恵理子さんの超絶技
巧演奏等新たな挑戦により大
変盛り上がりしました。
さて今年(丙午)の歳とし
て、陽気にあふれ、情熱をもつ
て挑戦すれば運氣があがり、
前進する大変力強い歳であ
り、物事が明らかに進んでく
るとされます。今年の年初
からの解散総選挙をはじめ、
高市政権での積極的かつ明確
な成長政策、安全保障政策等
情熱とエネルギーに溢れた挑
戦が運気上昇を招き、日本の
望ましい変革前進へとつなが
る歳にしたいものです。



私たち東京鳥取県人会も、
日本一催しの多い県人会に相
応しく、1月には、歌舞伎鑑
賞会、賀詞交歓会、大相撲観
戦会(70名応援団)をこなし
3月の「プラネタリウムハ
ルス」講演会、4月のゴルフ
(於高坂CC)・囲碁大会、5
月の大相撲観戦会(130名
大応援団)などが既に予定さ
れております。こうした催し
や県縁の団体との連携を通じ
更なる会員増強を進め、若い
人にも魅力のある親しみやす
く、温かい絆で結ばれた会と
なるよう県人会役員の皆様、
県東京本部の皆様と共に努め
ますとともに、機会をとらえ
て郷里の発展にも貢献して参
りたいと存じます。
どうぞ本年も県人会活動へ
気軽にご参加・ご協力を賜り
ますようお願い申し上げます
とともに、皆様のご健康と幸
せなご発展を心より願ってお
ります。

随想リレー



「星の見やすさ」
で全国一位となっ
ています。その実現に邁進し
ている岡島さんです。
もう一人は金本さんです。
彼は人工衛星による地球観測
データと人工知能を活用して、
宇宙から地球環境の課題解決

星取県の宇宙起業家

東京鳥取県人会副会長 遠藤 守

昨年の東京鳥
取県人会総会と懇
親の集いでは新し
い企画として、鳥
取県で生まれた若
い起業家をお招き
してパネルディス
カッションが開催
されて、県内での
起業家育成が進ん
でいることを知る
ことができた。

た鳥取県は宇宙ビジネスの育
成にも取り組んでいる。県外
にも目を向けてみると、県出
身の宇宙を目指す起業家が活
躍している。
「科学を社会につなぎ、宇宙
を文化圏にする」とのメッセー
ジを掲げて、世界初の人工流
れ星を実現して、多くの人に
宇宙エンターテインメントと
して提供するとともに、その
技術の応用として、地球の気
候変動のメカニズム解明に寄
与しようと株式会社ALEを
設立して、その実現に邁進し
ている岡島さんです。

の手段を提供する株式会社ス
ペースシフトを設立して、幅
広く事業を展開している。米
子市にも衛星データ研究所を
設立して、先進的な事業によ
り故郷の宇宙ビジネス振興に
貢献しようとしている。私自
身はもう若くはないが、長年
のロケット開発の経験を生か
して、わが国初の民間による
超小型人工衛星打ち上げサ
ービスを「宇宙宅配便」と称し
て実現しようとするスペース
ワン株式会社に参加している。
これまで二度和歌山県串本町
に建設したスペースポート紀
伊からカイロスペースポートの
打ち上げを挑戦しているが、残
念ながら未だ衛星を所定の軌
道へ投入できていない。今年
こそは三度目の正直を目指し
て、準備を進めているところ
です。

「総会・懇親の集い」 写真集

(歓談中のところをお邪魔し、写真
を撮らせていただきました。紙幅
都合上、一部しか掲載できません
でした。ご了承ください。敬称略)



(後) 坂出昌隆 松浦弘幸(三朝町長)
平井省三 勝部陽子 (前) 福井史枝
谷川克 本多泰揮 足立幾子 平石裕子



(後) 安藤泰治(智頭町議会議長) 國政祐太
大藤壽次 河上卓実 加賀田隆志
(前) 檀原雅 舞立昇治(参議院議員)
金兒英夫(智頭町長) 岸本取次 平石政伯



(後) 奥谷祐介 中瀬誠 長戸 清(若美町長)
(前) 三角幸子 倉益紀子 幾田充代



(後) 樋野和男 古都賢一 原義治 吉添圭介
(前) 山岡昭広 永井理湖 小野憲彦



(後) 足立盛二郎(顧問) 池本栄樹 青砥基
(前) 香美律子 木村晋一(境港市副市長)
渡邊省藏 上司則子 安酸庸祐



(後) 光井正人 伊澤勇人(米子市副市長)
赤羽益三 吹野博志 齋藤宏暢
(前) 越生明彦 鷺見野富子 鷺見恵理子



(後) 吉川博 都築法明
(前) 石田一成 永見匠 友定義晴 江夏亜
希子 大東直人



(後) 大津芳孝 山本和昭 倉都康行 向井稔
高治隆生
(前) 藤井田多恵子 小島順一郎 広田一恭
(倉吉市長) 錦織良成



左から 吉田浩司 定常征功(米寿)
富村晃貴 定常考浩 福本まり子(琴浦町長)
藤原孝行 奥山尚美 大平高志 信組由貴実
堀尾裕俊



左から 中井隆明 小林淳 上野茂美
岡本和哉 大田悦子 大田勝幸



(後) 吉田政雄 井口靖浩 前田徳夫
小島憲道 荒木達朗 末次省三 越谷英作
(前) 越谷重友 金子亮太郎



左から 井田年厚 小西恵子 宮永二郎(南
部町副町長) 亀尾保彦 山中昌之 梅原俊治



(後) 江畑由美 山崎恒樹 川崎雅紀
名荷貴史 安川洋介 佐々木さやか
(前) 松本弥生 松本美佐子 荒木政徳



(後) 門脇一宏 扇谷ちさと 林原友香
竹口大紀(大山町長) 中村英明(日南町長)
中永章治 (前) 柴田順子 吉原美知恵



(後) 原敏彦 田中繁 岡本健司(伯耆町副町長)
松原和文 神庭浩志 松本茂 (前) 木村健一
影山由美子 影山一幸 清原大助



(後) 三浦優彦 竹田高幸 関根正利 宮崎正道
千熊良憲 (前) 影山守(卒寿) 白石祐治
(江府町長) 杉本明 田中正代 松嶋一海



(後) 矢部喜堂 尾崎浩之 岩見一郎(八頭町
副町長) 尾崎正夫 前田祥治 川戸伸二(若
桜町副町長) 山本淳 (前) 田中剛
入江誠(米寿) 杉原宗人



(後) 中村昌弘 松本崇 三ツ國全代 村上
果実 宮本航 秋元幸子
(前) 横尾咲 横尾隆太郎 阿部なつみ



國永大二郎 佐藤陽子 角田祐介

活躍する若者たち

「とっとりへウエルカニ ネットワーク」

平野 優人(早稲田大学2年)

みなさん、はじめまして！
 私たちは「とっとりへウエルカニ ネットワーク」です。鳥取県出身の大学生、大学院生8人が「とっとりへウエルカニネットワーク」のメンバーとして、鳥取県庁とともに首都圏で活動しています。鳥取県を心から愛するメンバーが、それぞれの強みを生かし、協力して活動に取り組んでいます。「カムハック鳥取」を前面に押し出すのではなく、首都圏にいながら鳥取県と気軽に繋がることができる「緩やかな仲間づくり」(ネットワーク化)・関係人口の増加」を目指しています。鳥取県から遠く離れた首都圏にいても、多くの人たちに故郷・鳥取を思い出す機会をもつてほしいと思っています。

「とっとりへウエルカニネットワーク」は、各コミュニティの交流会などを活性化させ、他のコミュニティとの新たなつながりを生むことで、従来届きづらかった情報を集約し、出

高校生フォーラムIN米子 ふるさとの活性化策を考える

クラブ・セブンティ 河津 象司

「2025年度高校生フォーラムIN米子」が2025年12月13日、米子市ふれあいの里で実施され、鳥取県西部地区の高校・高専12校が参加しました。

フォーラムは、地域の未来を担う高校生が主体的に地域課題に向き合う探究的学習の成果を、社会人との対話を通じてさらに深め、新たな視点を獲得することを目的とし、「高校生フォーラムIN米子実行委員会」(クラブ・セブンティ、株) B E A N Sクラブ、鳥取県西部総合事務所、米子市、境港市などが主催。協賛は地元企業を中心に33社、後援は自治体報道各社16社。

県内の各高校・高専では探究的学習が進められており、生徒自身が興味や疑問からテーマを設定し、調査・考察・解決策の検討を行うことで、主体的な創造性を育む取り組みとして推進されています。

フォーラムは、その成果を地域社会と共有し、ふるさとの活性化策を

会い・交流・ビジネス等への発展を後押しし、ひいてはUターン・Iターンをサポートする機能も担っています。目玉のイベントは「鳥取の魅力を再発見」に開催した「鳥緑祭(とりえんさい)」です。昨年は「鳥取のご縁が集う学校外」の鳥取の文化祭というテーマのもと、鳥取県の魅力の再発見や、鳥取県をキーワードとした新たな交流を促すため、豪華賞品が当たるビンゴを企画し、各種ブース展示を運営しました。今年は、さらにパワーアップした「鳥緑祭」をお届けできるように、定期的なミーティングや制作作業など、日々の準備に努めています。

今年の「鳥緑祭」のテーマは「三二鳥取に没入」でした。なんと150人以上が集まり、たいへん盛り上がりました。平井仲治鳥取県知事にもお越しいただきました。参加は無料で、参加者はゲーム感覚で楽しんでいます。

その他の活動として、鳥取県にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍される方々を取引したり、首都圏で催される鳥取県に関連したイベントの情報発信などを行なっています。

「とっとりへウエルカニネット

- ①境港市「境港の料理を知ってもらおう」
- ②境港総合技術高校「咲かそう未来プロジェクト」
- ③日野高校「日野郡の自然資源を活用した商品開発」
- ④米子高校「子どもたちと地域愛を育もう」
- ⑤米子北高校「生涯学習支援による認知症予防の可能性」
- ⑥米子工業高校「里山再生」
- ⑦米子高専木のおくもりを未来へ!!
- ⑧米子松陰高校「魅力的な公園を作りたい!!」
- ⑨米子西高校「フレイルを超えた先

「鳥緑祭」の参加者ら。前列二列目の中央は平井仲治鳥取県知事

「とっとりへウエルカニネット」が今後も活動の幅を広げていき、首都圏と鳥取県をつなぐハブ的存在として、より多くの人たちに知ってもらえれば幸いです。そして、誰でも気軽に「鳥取」とつながる場所として、これからも「ウエルカニ」な空間をつくり続けたいと考えています。

「高校生フォーラムIN米子」に参加の高校たち

「ある高齢者の輝きとは？」
 ⑩米子東高校「南部町の農業の復興可能性」
 ⑪米子北高校「地域特化型情報収集アプリX思い出記録SNS」
 ⑫米子南高校「米子市の魅力作り発信」

いずれのテーマも、名産品創出・Uターン促進、高齢者・フレイル対策、里山再生、地域魅力向上など、地域が抱える課題を的確に捉え、解決の可能性を探った内容でした。若者ならではの柔軟な発想と地域への思いが随所に表れ、今回のフォーラムを通じて、探究の積み重ねが地域社会に新たな気づきと活力をもたらすことを期待しています。

「ゴルフ競技日本代表 前島 博之」
 (鳥取県立鳥取高等学校教諭)

東京2025デフリンピックは、私にとって人生の中でも特に心に残る大会となりました。デフリンピックが誕生してから100年という大きな節目の年に、日本そして東京での大会が開催されたことは、デフアスリートの人として大きな誇りです。これまで多くの先輩方が、聞こえない、聞こえないという壁と向き合ってきました。その長い歴史の積み重ねの上に、私自身がこの舞台に立てたことを思うと、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

今大会では、当初の目標であった観客数10万人を大きく上回る28万人が会場に足を運んでくれました。競技会場では、拍手や身振り、手話による応援があふれ、会場全体が一体となって選手を支えてくれたことを強く感じました。聞こえない私たちが、目で見て伝わる応援は何よりの励みです。デフリンピックが多くの方々に支えられ、共に感動を分かち合える大会になったことを心からうれしく思いました。

私はゴルフ競技に出場し、個人戦で7位、男女ミックス戦で8位という結果を残すことができました(11月18日・11月21日)。江東区若洲ゴルフリンクスで開催した個人戦3ラウンド 54ホール、男女ミックス戦18ホール。決して楽な試合ではなく、思うようにいかない場面も多々ありましたが、これまで支えてくださった家族や仲間、支援者の存在、そしてふるさと鳥取の皆さまの応援が、最後まで自分を支えてくれました。ゴルフは静寂の中で一打一打に集中し、自分自身と向き合う競技ですが、続けてきたからこそ味わえる達成感や喜びがあり、改めてゴルフの魅力を実感しました。

デフリンピックは、単なるスポーツ大会ではありません。聞こえない、聞こえない私たちが、スポーツを通して社会とつながり、理解を広げていく大切な場だと感じています。今回の東京大会をきっかけに、デフスポーツやデフリンピックへの関心がさらに高まり、多様性を尊重する社会へと

鳥取県男子学生寮明倫館は、1885年創設の学生寄宿舎(久松園を端緒とし)、明倫館」と名付けられたから60年を超える歴史があります。平成元年に成城の地に移転し40年近くが経過しました。この間、首都圏で学ぶ鳥取県出身の若者に、健康で文化的な生活環境を提供し、そして経済的負担を軽減して修学を助けることに、ふるさと鳥取になくてはならない有為な人材を輩出してきました。時代とともに社会や生活環境が変化してきましたが、明倫館は伝統的に人材育成の場として自治会を中心に運営しています。現在の寮生たちがどのような生活を通して、外部機関とどのように連携を取っているかをご紹介します。

- (1)寮の生活環境について
 - 5畳程度の個室に、ベッド・机椅子・収納棚・エアコン・WiFiが完備です。ベランダには洗濯物が干せます。
 - 寮生は当番制で、共用場所等の清掃や門限当番をします。割り振りから監督まで自治会が行います。
 - 原則24時が門限です。24時以後に帰寮した場合は、暗証番号入力して寮内に入ることが出来ます。
- (2)大学等や寮外での活動について
 - 主に対面授業ですが、オンライン授業もありです。祝日や土曜日に授業を行う大学等もあります。
 - 寮生の多くは大学のサークルやアルバイトなど活動範囲を広げ、学生生活を楽しくしています。
 - 寮生は多くは大学のサークルやアルバイトなど活動範囲を広げ、学生生活を楽しくしています。
- (3)自治会活動(主な行事)について
 - 自治会は執行部(会長・副会長・会計・書記)、生活文化部、厚生部、レク部、図書部、PC部で組織し、原則毎月、総会を開催し、相互交流や環境整備等に積極的に意見交換しています。
 - 4月の新入生歓迎会・オリエンテーション・入寮式・歓迎バーベキューから始まり、就職セミナー、寮祭(消相寮と交流の写真展)、卒業生を送る会の他にも、

「60年超の歴史 人材育成の場 鳥取県男子学生寮明倫館」
 明倫館寮長 竹ノ内 誠一

「とっとりへウエルカニネットワーク」が今後も活動の幅を広げていき、首都圏と鳥取県をつなぐハブ的存在として、より多くの人たちに知ってもらえれば幸いです。そして、誰でも気軽に「鳥取」とつながる場所として、これからも「ウエルカニ」な空間をつくり続けたいと考えています。



前島博之さん(左)とキャディを務めた兄の前島浩二さん | 清和寮と交流する明倫館に入寮の学生ら

